

プロセス指標の基準値と刈谷市の比較

プロセス指標の基準値 (対象年齢: 50~74歳)		刈谷市														
		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度(4月~7月)		
		胃部X線検査	内視鏡検査	全体	胃部X線検査	内視鏡検査	全体	胃部X線検査	内視鏡検査	全体	胃部X線検査	内視鏡検査	全体	胃部X線検査	内視鏡検査	全体
					40歳以上	50歳以上偶数月生		40歳以上	50歳以上奇数月生		40歳以上	50歳以上偶数月生		40歳以上	50歳以上奇数月生	
要精検率(※1)	7.6%以下	6.1%	18.8%	7.6%	6.9%	18.8%	8.7%	7.4%	20.1%	9.6%	6.8%	19.1%	6.9%	4.6%	6.5%	5.0%
精検受診率(※2)	90%以上	83.6%	98.3%	87.9%	80.3%	99.3%	86.6%	79.8%	100.0%	87.2%	82.3%	100.0%	89.1%	64.4%	100.0%	74.4%
がん発見率(※3)	0.11%以上	0.09%	0.32%	0.11%	0.05%	0.0%	0.04%	0.18%	0.24%	0.19%	0.08%	0.40%	0.15%	0.0%	0.56%	0.12%
陽性反応的中度(※4)	1.5%以上	1.4%	1.7%	1.5%	0.7%	0.0%	0.4%	2.4%	1.2%	1.9%	1.2%	2.5%	2.1%	0.0%	8.7%	2.4%

出典：がん検診のあり方に関する検討会（令和6年7月）

※1 要精検率：がん検診受診者のうち、精密検査が必要と判断された者の割合

※2 精検受診率：要精検者のうち、精密検査を受けた者の割合

※3 がん発見率：がん検診受診者のうち、胃がんが発見された者の割合

※4 陽性反応的中度：要精検者のうち、胃がんが発見された者の割合